

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする研究に関する情報公開

1. 研究課題名	大学生の一般用医薬品に関する知識・態度・使用状況のオンラインアンケート調査研究
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科・助教・幡生あすか
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2022年8月29日 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2022年8月29日～2025年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	大阪大学大学院薬学研究科・助教・幡生あすか Institut Teknologi Bandung, Indonesia, Cindra Tri Yuniar
6. 研究の目的・意義	セルフメディケーションの推進にあたり、医薬品の適正使用は重要である。かかりつけ薬剤師・薬局は、来局者の医療用医薬品だけでなく一般用医薬品（OTC医薬品）を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導を行う事が求められる。セルフメディケーションの実施状況を把握する事は、薬剤師がセルフメディケーションの支援を行う時や、政策立案者が適切なセルフメディケーションの推進プログラムを設計するために重要である。特に日本では医療費の増加抑制政策の一環としてセルフメディケーションを推進しようとしている。そのため、若い世代のセルフメディケーションに対する知識や態度を把握する事は、将来の医療政策立案に有用だと考えられる。 そこで、本研究では、セルフメディケーションの中でも、特にOTC医薬品の使用に焦点をあてて、 1. 大学生の知識・態度・実践状況およびそれらに影響を与える要因を調査すること 2. 日本とインドネシアで同一の調査票による調査を行い、結果を比較する事で、OTC医薬品の使用に影響を与える要因について示唆を得ること、を目的とした。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	日本またはインドネシアに居住する大学生。情報はアンケート調査により収集する。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	情報：回答者の属性（性別、年齢、等）、一般用医薬品に関する知識、態度、実施状況、等
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	無記名のアンケート調査のため、回答の提出後の撤回はできません。この調査の結果は個人を特定しない形で集計し、学会発表や学術論文として公表する予定です。
10. 研究資金・利益相反	本研究は運営費交付金により実施します。利益相反はありません。
11. お問い合わせ先	住 所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6 電 話：06-6879-8250 e-mail: ashatabu@phs.osaka-u.ac.jp (◎は@です) 大阪大学大学院薬学研究科 医療薬学分野 助教・幡生 あすか（研究責任者）